

2-13 災害時用臨時ヘリポート一覧

ヘリポート名	所在地	管理者	電話番号 (0725)	幅×長さ	備考
和泉市総合 スポーツ センター	下宮町160	和泉市教育委員会 生涯学習部生涯学習推進室 スポーツ振興担当	99-8162	120× 78m	
和泉市立 光明池 緑地運動場	光明台三丁目36—1	〃	〃	160× 98m	
陸上自衛隊 信太山演習場	小野町他	陸上自衛隊 信太山駐屯地司令	41-0090	330× 38m	

(令和3年1月末現在)

2-14 災害時用臨時ヘリポートの選定基準

- 1 地盤は、堅固な平坦地のこと。(コンクリート、芝生が最適)
 - 2 地面斜度6度以内のこと。
 - 3 離着陸（発着）のため必要最小限度の地積が確保できること。
〔必要最小限度の地積〕
 - ◎大型ヘリコプター …… 100m四方の地積
 - ◎中型ヘリコプター …… 50m四方の地積
 - ◎小型ヘリコプター …… 30m四方の地積
 - 4 二方向以上から離着陸が可能であること。
 - 5 離着陸時、周辺に支障のある障害物がないこと。
 - 6 車両等の進入路があること。
 - 7 林野火災における空中消火基地の場合
 - ①水利、水源に近いこと。
 - ②複数駐機が可能なこと。
 - ③補給基地が設けられること。
 - ④気流が安定していること。
- ◎なお、受入れにあたっては次の事項に留意すること。
- 1 風向風速を上空から確認判断できるように、ヘリポート近くに吹き流し又は旗を立てること。
これが準備できない場合でも航空機の進入方向を示す対策（例：発炎筒）をとること。
 - 2 着陸点にはHを表示すること。
 - 3 状況により消火設備、照明設備、補給設備等を整備すること。